

平成29年度 大垣市教育振興基本方針評価委員会 第1回会議録

- 1 **と き** 平成29年7月6日（木） 9:30～12:00
- 2 **と ころ** 大垣市役所北庁舎北館1階 教育委員会室
- 3 **出席者** 平野順一委員長、矢橋和江副委員長、田村弘司委員、三代広子委員、高橋美和子委員、金森武委員、酒井俊亘委員、馬淵敬子委員
- 4 **事務局** 山本教育長、安田事務局長、山下庶務課長、細江学校教育課長、稲川教育総合研究所長、藤社会教育スポーツ課長、中井文化振興課長兼守屋多々志美術館館長、鈴木文化振興課文化財専門官、大谷上石津地域教育事務所長、加藤墨俣地域教育事務所長、中山南部北部学校給食センター所長、奥田図書館長、高木まちづくり推進課長、杉田市民活動推進課長、浅井子育て支援課長、坂子育て総合支援センター所長
伊藤庶務課主幹、大橋庶務課主査

5 **傍聴者** なし

6 議 題

- (1) 平成28年度大垣市教育振興基本方針の評価について
- (2) 平成28年度大垣市教育委員会の活動状況について
- (3) 平成28年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について
 - ① 学校教育分野
 - ② 青少年・家庭教育分野
 - ③ 図書館分野

7 会議録

開会 9:30

発言者	発言内容
山下 庶務課長	本日は大変お忙しいところ、平成29年度大垣市教育振興基本方針評価委員会の第1回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます

発言者	発言内容
山下 庶務課長	<p>す。本日の司会を務めさせていただきます大垣市教育委員会庶務課長の山下でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、初会合でございますので、委員長が決まりますまで、私の方で進行役を務めさせていただきます。ここで、一言お断りをさせていただきます。</p> <p>委員の皆様の方に委嘱状がございます。本来ですと教育長から交付させていただくところですが、時間の都合上、省略させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、山本譲教育長よりごあいさつ申し上げます。</p>
山本 教育長	<p>本日は、大変お忙しいところ、平成29年度の大垣市教育振興基本方針評価委員会の第1回会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、今年から2年間委員の方を引き受けていただき重ねてお礼申し上げます。新たに3人の方に引き受けていただきました。国の方針によって、教育委員会の事務事業を点検・評価を行うということが決められております。大垣市では第2次教育振興計画の6つの分野の進捗状況について報告させていただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。今日いただいたご意見につきましては、取りまとめのうえ、市議会に報告させていただくとともに、これからの事務事業の振興に活かさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
山下 庶務課長	<p>ありがとうございました。次に、次第の3、「委員の紹介」に移らせていただきます。委員の皆様方につきましては、本年5月から2年間お世話になりますので、本来ならお一人ずつご挨拶いただくところでございますが、時間の関係上、私の方でお名前のみご紹介させていただきたいと思っておりますので、ご了承賜りたいと存じます。</p> <p>(各委員の紹介)</p> <p>はじめに、議題の(1)、「委員長並びに副委員長の選出について」でございます。大垣市教育振興基本方針評価委員会設置要綱によりますと、委員の互選となっておりますが、どのような方法により、選出させていただいたらよろしいでしょうか、お諮りをさせていただきます。</p>
酒井 委員	<p>事務局のほうに案がありましたら、お聞かせいただきたいと思っております。</p>
山下 庶務課長	<p>ただいま、事務局のほうで案があったらというご発言がありました。そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>

発言者	発言内容
山下 庶務課長	ありがとうございます。それでは、誠に僭越でございますが、委員長、副委員長をご推薦申し上げたいと存じます。委員長には、平野順一委員様に、副委員長には、矢橋和江委員様にお願いいたしたいと存じます。ご賛同いただければ、拍手でご承認いただきたいと存じますが、いかがでしょうか。
委員	拍手
山下 庶務課長	ありがとうございました。それでは、委員長には、平野委員様、副委員長には、矢橋委員様にご就任いただきたいと存じます。平野委員長様には、これからの委員会の議長をお務めいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。それでは、平野委員長様から一言お願いします。
平野 委員長	ただいま、大垣市教育振興基本方針評価委員会の委員長にご推薦いただき、大変光栄に存じます。皆様方にご協力いただきながら、教育振興基本方針の評価に取り組みたいと存じますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
山下 庶務課長	それでは、これよりの進行につきましては、平野委員長様にお願いいたします。
平野 委員長	議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。また、本日は傍聴人の方は、いらっしゃいません。それでは、議題の(2)「平成28年度大垣市教育振興基本方針の評価について」を事務局から説明をお願いいたします。
山下 庶務課長	〈資料説明〉 資料No.2－平成28年度大垣市教育振興基本方針の評価について
平野 委員長	ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」とありますが、学識経験を有する者というのは、この評価委員のことでよろしいでしょうか。
山下 庶務課長	はい。この評価委員さんのことです。

発言者	発言内容
平野 委員長	次に、議題の(3)「平成28年度大垣市教育委員会の活動状況について」を事務局から説明をお願いいたします。
山下 庶務課長	<p>〈資料説明〉</p> <p>資料No.3－平成28年度大垣市教育委員会の活動状況について</p>
平野 委員長	<p>教育委員会ではどのような活動をしているかということでございますが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。</p> <p>定例教育委員会の議題の中の、「東京オリンピックフェンシング事前キャンプ大垣市誘致PR大使の委嘱について」、「大垣市スイトピアセンター駐車場規則の一部を改正する規則に関する意見の提出について」、「健康管理医の委嘱について」について、内容の説明をお願いします。</p>
藤 社会教育スポーツ課長	東京オリンピックフェンシング事前キャンプ大垣市誘致PR大使の委嘱についてでございますが、大垣市では、東京オリンピックに向けて、海外のフェンシングナショナルチームの事前合宿を武道館で行っていただけるよう名乗りを上げております。そのため、誘致にはそれなりの人脈が必要だということで、大垣市ゆかりのフェンシング選手、例えばリオオリンピックで活躍されました、大垣共立銀行所属の佐藤希望選手などに委嘱をして、海外を転戦する際に誘致PR活動をしていただくものでございます。
中井 文化振興課長	大垣市スイトピアセンター駐車場規則の一部を改正する規則に関する意見の提出についてでございますが、現在スイトピアセンターの駐車場を利用されると200円を事前にいただいておりますが、30分以内に退出をされる方には次回無料駐車券を交付しておりました。30分ですと十分に図書館を利用できないという意見をいただいておりますので、もう30分延長して、60分以内に退出された方には次回無料駐車券を交付させていただき改正案でございます。4月から改正されております。
奥田 図書館長	補足ですが、運用の中で60分以内に退出された方へ次回無料駐車券を配布する対象の方は、図書館で本を借りられた方で、スイトピアセンターの施設を利用した方すべてというわけではありません。
田村 委員	非常に前進していると思いますけれども、図書館で本を借りないと次

発言者	発言内容
	回無料駐車券の配布対象にならないというのはどうかと思います。他市町の図書館の駐車場は基本的に無料ですね。図書館を気軽に利用してもらおうと思えば基本無料にするのがいいと思いますが、何か支障があるのでしょうか。
奥田 図書館長	図書館の駐車場料金を無料にするお話については、以前より評価委員会、図書館協議会、議会等でいろいろご意見をいただいております。一般的に図書館には無料の原則がありますが、大垣市立図書館は、文化会館、学習館との複合施設のなかで、スイトピアセンターの駐車場を使わせていただいておりますので、他の利用者さんとの負担の公平性ということがあります。ただし、せめて1時間ないと本を選べないという声を沢山いただいておりますので、60分とさせていただきます。
田村 委員	本を借りにきたけれど、目的の本がなかったという場合は、駐車場料金は支払うのですね。岐阜市のメディアコスモスの駐車場はどうか。
奥田 図書館長	メディアコスモスについては、最初の2時間無料で、その後30分ごとに100円かかります。
平野 委員長	駐車場を無料にすることについては以前からの課題ですが、次回無料駐車券の交付が30分から60分に拡充されたことは前進ですね。
山下 庶務課長	健康管理医についてでございますが、学校医が児童生徒の健康管理をする医師としてみえますが、健康管理医については、学校の先生の健康管理をする方になります。
平野 委員長	大事なことです。以前からあったのでしょうか。
山下 庶務課長	はい、以前からありました。
平野 委員長	教育委員会として非常に活発にやっただいてということが確認できたかと思います。 次に、議題の(4)、「平成28年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について」を事務局から説明をお願いいたします。
山下 庶務課長	<資料説明> 資料No.4－平成28年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について

発言者	発言内容
平野 委員長	<p>ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。</p> <p>それでは、特に、ご発言もないようですので、さっそく、実施状況の評価に入りたいと存じます。</p> <p>はじめに、①の「学校教育分野」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
細江 学校教育課長	<p><資料説明></p> <p>別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（学校教育振興計画）</p>
田村 委員	<p>確認ですが、目標の数値が変わることはありませんか。達成率が非常にいいものについて、今後もずっとA評価としますか。</p>
細江 学校教育課長	<p>5年計画の最初の年に設定したものであり、この目標のまま進行していきます。</p>
三代 委員	<p>P12の市主催の研修会への参加人数が減っている理由を教えてください。また、研修は自由参加ですか。</p>
稲川 教育研究所長	<p>まず、平成27年度に研修の数を精選しました。この背景には教職員の多忙化の問題があります。また、平成28年度にはタブレットの導入に伴う校務用のパソコン研修が終了しております。</p>
細江 学校教育課長	<p>研修の種類には、希望参加の研修、職務に合わせての悉皆の研修、全職員が2年に1度出てくださいという研修があります。</p>
矢橋 委員	<p>P6の地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合が平成28年度大きく数値が上がっておりますが、何かされたのでしょうか。</p>
細江 学校教育課長	<p>平成27年度までの数値は、4月に行われる全国学力学習状況調査の結果です。平成28年度からはその調査からこの質問項目がなくなったため、2学期以降に特別に市で質問していることがあると思います。また、自己有用感や、自分から社会に向けて取り組んでいくということを各学校取り組んでいますので、アンケートの時期的なことと効果と両方あると思います。</p>
矢橋 委員	<p>P7の子どもの就学に関わる相談会の申込件数が増えていますが、初期指導教室、日本語指導教室において指導を受けている子どもの満足度は下がっているのは、どういう影響でしょうか。</p>

発言者	発言内容
細江 学校教育課長	<p>相談会の件数が増えているのは、就学前の幼稚園・保育園の先生と小学校の先生、小学校の先生と中学校の先生の連携が取れるようになってきたこと、夏と秋の相談会を周知できている結果だと思えます。</p> <p>初期指導教室、日本語教室の満足度については、ニーズに応えきれていないというのが現状です。外国籍の子どもの数は、リーマンショックの時に一時減りましたが、現在ピーク時と変わらないぐらい沢山みえます。初期指導教室とって日本語が全く話せない方に指導する教室は、H26は116人、H27は115人、H28は130人、H29は158人です。リーマンショックで生徒数が減った時に、手厚い指導をしましたが、生徒数が戻っても同じような指導が求められますし、教室も待ち状態となっていることが、満足度低下の原因と考えられます。</p>
平野 委員長	<p>最初に立てた目標を達成しようとしても、外的な要因で現況が変わってきます。無理が生じてきますが、無理をがんばっていただくのが本市の教育の元かもしれません。</p>
山本 教育長	<p>発達障がいの子どもたちが増えています。発達障がいの見識、知見を保護者の方々が持たれているため、自分の子どもは発達障がいではないかという相談が増えています。発達障がいの子が通う通級指導教室の子どもも増えており、相談件数の増加はそういう背景もあると思っています。</p>
酒井 委員	<p>P12の市主催の研修会への参加人数についてですが、教員にとっては研修会を精選していただいておりますが、平成31年度の目標値は5,000人となっております、これからずっとC評価が続くこととなりますし、子どもにゆとりをもって接する時間がありますかの間いでは、42.7%ですが、平成31年度の目標値は40.0%となっていて実態と合っていないと思います。しかし、目標値は変えられないということなので、A評価であっても限りなく上を目指していただきたいと思えます。</p>
平野 委員長	<p>先生方は多忙だということが問題になっておりますが、ただ研修だけはしていただきたいなと思えます。忙しいのと研修をおろそかにするのは違いますので。</p>
田村 委員	<p>子どもにゆとりをもって接する時間があるの間いが、42.7%でA評価というのは違和感があって、限りなく100になって欲しい数値です。教師は子どもに接する時間が沢山あることを忙しいと思わないと思</p>

発言者	発言内容
田村 委員	<p>ます。子どもに向かう時間はしっかり確保して欲しいと思います。</p> <p>また、教師にとって研修は生命ですので、研修会が減ると資質向上になりません。部活動が忙しいという話もありますが、部活動を通じての教師と子どもの接触も非常に意味があると私は思っています。そういうところが難しいと思いますが、考えていただければと思います。</p>
細江 学校教育課長	<p>子どもにゆとりをもって接する時間についてはご指摘のとおりと思います。</p> <p>研修については、教育委員会も工夫をしなければいけないということで、集める研修ばかりでなく、学校現場へ出かけていく研修も進めることで、ニーズにも合い、負担も減るということを始めているところです。</p>
馬淵 委員	<p>子どもにゆとりをもって接する時間がある教員の割合が42.7%なのに対し、子ども一人ひとりの悩みや不安に支援できていると感じている教員の割合が82.4%と高いです。ゆとりをもって接することで一人ひとりの悩みや不安に支援できるのではないかと思います。実際子どもたちが支援してもらっていると感じているかは、いろんな方向から検証しないといけないと思います。</p>
高橋 委員	<p>P11の学校教育について十分な情報を得ている保護者の割合が、90.7%と非常に伸びていますが、何か対策がありましたか。</p>
細江 学校教育課長	<p>この数字は各学校が行っている学校評価の中の保護者評価にあるのですが、学校ホームページの充実が進んでいまして、その効果が出ているのかなと思っています。大垣市はホームページが先生の負担にならないように、教育情報センターの方でかなり支援しています。</p>
平野 委員長	<p>健康管理医の先生方の活躍はどうなのでしょう。</p>
細江 学校教育課長	<p>今年からの取り組みで小中学校の全職員を対象にメンタルヘルスチェックを行っています。その結果から健康管理医の先生にお願いをしていくフォロー体制は整いつつあります。</p>
矢橋 委員	<p>大垣市の子どもたちの体力はどうですか。</p>
細江 学校教育課長	<p>大垣市の子どもたちの体力の特徴は、小学生は握力が弱いといわれています。ここ数年は筋力・筋持久力は向上しています。柔軟性・走る力・飛ぶ力は平均よりやや低いです。</p> <p>ただし、中学生になるとどの学年も全国平均を大きく上回ります。</p>

発言者	発言内容
山本 教育長	年齢が低いほど、全国平均と比べて低いです。中学校は部活に全員入ることになっていますので、そこで体力が向上していると思います。ただし、先生にとって部活が大きな負担になっていることが問題でもあります。
田村 委員	ふるさと大垣科が始まって何年か経つのですが、成果についてどのようにお考えですか。アンケートの中にはマイナスな意見もありましたが。
細江 学校教育課長	<p>成果は、大垣について知ってるようで知らないのが小中学生なので、今まで知らなかった大垣について知れたということは1つの成果です。もう1つはいろいろな方と関わることができました。俳句協会の方、地域の方、そういうコミュニティに入れるようになったことも成果だと思います。</p> <p>課題としては総合的な時間とのすみわけや、教員と外部講師の役割分担の明確化があると思います。</p> <p>昨年から中学3年生が、ふるさと大垣科を学んできたことを元にして、未来の大垣にむけて夢や思いを語る『夢会議』という場を設定し、市議会の議場で代表が発表します。未来の大垣に向けての思いや願いを持つという繋がりの中なかで『ふるさと大垣科』が一つの形になってきているととらえています。</p>
平野 委員長	ICTの授業についてどのような方向で進めていきますか。英語や道徳はどうですか。
山下 庶務課長	ICT機器の充実については、タブレットが50%弱の学校に入っています。今年度末には約60%がノートパソコンからタブレットに切り替わります。
細江 学校教育課長	<p>ICT機器の活用は、これから求められる、主体的で対話的で深い学びにという学習指導要領に有効なものなので普及させていきたいと思っています。</p> <p>英語については、今年から小学3年生から週に2時間の授業があります。そのうち1時間はモジュール学習で15分ずつ3回に分けて行う授業です。DVDの資料を活用して取り組んでいます。</p> <p>道徳教育については、来年から新しく道徳科に変わっていきませんが、今年度は宇留生小学校をパイロット学校として成果を普及して進めています。</p>

発言者	発言内容
金森 委員	将来の夢や希望を持っている子どもの割合は、児童と生徒で違いがありますか。
細江 学校教育課長	小学生は85.0%、中学生は69.6で、全体で77.6%となっています。
平野 委員長	それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。
各委員	異議なし
平野 委員長	総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。次に、②の「青少年・家庭教育分野」について、事務局から説明をお願いいたします。
藤 社会教育スポーツ課長	<資料説明> 別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（青少年健全育成計画）
平野 委員長	子ども会における先生の立場はどうですか。
三代 委員	小中子ども会は7月の第1土曜日にやっています。土曜授業のあった午後に開催していますが、先生方がわざわざ町内の子ども会に出向いていただいたりしています。地域によって温度差がかなりありますが。子どもたちは、学校の顔と地域での顔と違うので、地域での顔のみをみただけでいいと思っています。
平野 委員長	学校の応援があると違うと思います。「明日子ども会がありますね」と先生に言っていただけるだけでだいぶ違うと思います。
矢橋 委員	P25に子育て・子育てという言葉がありますが、子育てというのは一般的な言葉なのでしょうか。
浅井 子育て支援課	子育てというのは、子どもが自主的に育つということで、親が関わりすぎずに自分から育っていく力をつけなければいけないということが含まれています。あまり一般的ではありませんが、調べると出てきます。
坂 子育て支援センター所長	就学前の幼児に対する言葉です。実際に、乳児、幼児、就学といろいろな段階がありますが連携していけるような形でいろいろ企画しております。子どもが遊びに夢中になる。主体的に自らが気づき、体を動かし興味関心を持つというような、遊びの中での習得・人間力を高めるような講座を展開しています。
高橋 委員	リーダースクールの狙いと、参加者のニーズが合っていないのかなと思います。今後の考えとしてはいかがですか。

発言者	発言内容
藤 社会教育 スポーツ課長	保護者のアンケートによりますと、地域行事や習い事と重なっているということがあるようですので、少なくとも大きな行事と重ならないよう配慮していきたいと思います。また、子どもたちも忙しい中、一泊二日という日程が難しいようですので、子ども会さんとも相談しながら、日帰りの企画なども取り入れることができないかを検討してまいりたいと思います。
高橋 委員	いろんな理由があると思いますが、それをおいてでもリーダースクールに参加したいという価値を理解してもらっていますか。
三代 委員	年々人数は減っていますが、例えば少年の船があつたりとか、リーダースクールに出てきてくれる子が、地域リーダーとして確実に育ちつつあるのは成果です。参加人数が減少して低迷しているように見えますが、たくさん遊びに来てリーダーとして残らないというのとは違って、ジュニアリーダーが確実に育っています。
高橋 委員	地域リーダーが地域で活躍する姿をあまり見ませんが。
三代 委員	地域のリーダーはあまり前に出る子ではなく、困っている子を助けるような子が多いです。こういう子も縦割りの中で必要な子です。お母さんたちが、参加すると何かしなければいけないと思ってみえる方が多いです。大きい子が小さい子を面倒みるので、子どもたちを自由に遊ばせて手を出さずに見守っていただきたいのですが、親は待てないです。ですから消極的でも小さい子を面倒見てくれる、お兄ちゃんお姉ちゃんを育てています。
藤 社会教育 スポーツ課長	そのあたりの魅力をもっとPRしていきたいと思います。
平野 委員長	最近では市議会議員・町議会議員になる方が減っていると聞きます。ふるさと大垣を理解している人が、「よし」と思ってくれる、そういうリーダーが欲しいと思います。
高橋 委員	中学生や小学生などに企画してもらって夏祭りを作るようなリーダーを地域としても育てたいなと思います。
平野 委員長	それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。
各委員	異議なし
平野 委員長	総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。次に、③の「図書館分野」について、事務局から説明をお願いいたします。
奥田 図書館	〈資料説明〉

発言者	発言内容
長	別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（読書活動推進計画）
平野 委員長	レファレンスについて教えてください。
奥田 図書館長	<p>図書館利用者が、調査研究などの目的で調べごとを図書館職員にお尋ねされた場合に資料を検索・提供など手助けをすることです。簡単なことから、例えば大垣城のこういう部分について深く知りたいという問い合わせまで、多岐にわたるものです。</p> <p>ただし、ここに件数としてあげている数は、1階、2階、3階と受付窓口がありますが、3階の郷土資料室で受け付けたレファレンスの件数のみで、1、2階の窓口で受けたレファレンスは入っていません。</p>
平野 委員長	レファレンス件数が平成28年と比べてかなり減っていますが。
奥田 図書館長	<p>これまでは、1、2階の窓口にし少し高度なお尋ねがあった場合は、郷土資料室へほとんど案内していましたが、サービスの向上として、1、2階でも答えられるものは答えようということで、レファレンスのデータベースを充実させたり、昨年からは臨時職員にもレファレンス研修などに派遣して、対応したためと考えられます。</p>
田村 委員	<p>評価がDとなるといかにも悪くみえます。スタッフのレベルが上がっているということですので、逆に評価しないといけないのではないですか。</p> <p>来年以降もずっとDが続くと意味がないと思います。</p>
矢橋 委員	1、2階のお尋ねも含めて数えたらいいと思います。郷土資料室は扉の向こうにカウンターがあるため、利用者としては1、2階で済ませたいと思いますので。決してD評価ではないと思います。
奥田 図書館長	1、2階のレファレンス件数も含めると約3,500件となりますが、簡単な問い合わせを含んでいますので、実績には入れづらいと思います。
矢橋 委員	1、2階のお尋ねも含めてもいいと決定するのはどこなのでしょう。5年の間で環境が大きく変わりますので。
山本 教育長	目標設定については、計画を立てた時に目標設定しております。ただ努力しても評価がDになるのは正確に評価されているとは言い難いので検討したいと思います。
平野 委員長	接客の心も大事だと思いますので、そちらの方もお願いいたします。
奥田 図書館長	基本的なことですので、接客についても研修したいと思います。

発言者	発言内容
酒井 委員	園・学校における読書活動の推進についてですが、留守家庭教室に本を貸し出していることはいいことだと思います。留守家庭教室で本に親しむ子が多いです。どういった形で貸し出していますか。
奥田 図書館長	団体登録していただいていますので、留守家庭教室の先生が取りにみえて、まとめて貸し出ししています。特に夏休みには多くの図書を貸し出ししています。
平野 委員長	それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。
各委員	異議なし
平野 委員長	時間もまいりましたので、本日の審議はここまでとさせていただきますと存じます。 次回は、次の3分野について審議をしたいと存じます。これをもちまして、本日の評価委員会を終了いたします。
山下 庶務課長	<次回開催> と き 平成29年7月11日 (火) 9:30～ ところ 教育委員会室

12:00